

研究開発成果 実装支援プログラム
平成20年度 報告書

実装活動の名称 「物流と市民生活の安全に貢献するトレーラ
トラック横転限界速度予測システムの社会実装」

採択年度 平成20年度
実装機関名 東京海洋大学
実装責任者 渡邊 豊

1. 概要

本実装活動において社会的普及を推進させる「海上コンテナを牽引するトレーラートラックの横転防止システム」の研究開発を行った兵庫県神戸市を中心とした阪神地区を中心に、研究成果の社会的理解獲得と装置普及推進を目的に実装活動を行った。

2. 実装活動の具体的内容

社会的理解獲得活動においては、社会全体におけるトレーラートラック物流の現状理解を目的とした、一般市民向けの交通安全研修会を開催する。横転事故を発生させやすいトレーラートラック物流の背景、問題点、方策提言などを同研修会にておこない、トレーラートラックが横転事故を発生させない安全な社会実現に向けた世論構築を図った。

装置普及活動においては、物流関係者、特にトレーラートラックのドライバー向けとして横転防止装置試用会を開催する。トレーラートラック横転防止装置の技術的説明とともに同装置（試作機）をドライバーに実際に試用体験してもらう試用会を開催し、トレーラートラック横転事故防止に直結できる技術成果の理解と防止効果の認識を図った。

3. 成果

① 市民向けセミナー開催

日時：平成20年11月1日－3日

11：00－11：30、14：00－14：30(各日とも午前午後1回ずつ、合計6回開催)

場所：東京海洋大学品川キャンパス

内容：研究成果「トレーラー横転防止技術」の社会的認知度獲得を目的とした、一般市民向けセミナー。

聴講人数：延べ510名

内訳 11/1 午前50名、午後120名

11/2 午前60名、午後90名

11/3 午前70名、午後120名

結果：物流、特に輸出入に関する基礎情報、片荷高重心状態で陸上輸送されている海上コンテナ物流の現状、トレーラートラック横転事故の実情、横転事故を防止できる本研究成果について、一般市民の理解を獲得できた。

また、本実装活動の市民向けセミナーが企画として成立することを確認できた。

② 阪神地区物流関係者向けセミナー開催

日時：平成21年3月27日 16：00－18：00

場所：神戸ポートピアホテルポートピアホール

内容：研究成果「トレーラー横転防止技術」の社会的認知度獲得

聴講人数：約600名

結果：安全が物流業界の振興に貢献できることを、業界関係者の共通認識化することができた。

実装支援プログラム 年度報告書 様式

(1) 出願

本年度の出願はありません。

①国内出願 (0件)

②海外出願 (0件)